

## 抗酸菌検出用前処理液

# CC-E “ニチビー”

### 【形状・構造等】

- CC-E液            2%水酸化ナトリウム  
                         喀痰膨潤剤
- CC-E助剤        長期安定型NALC

### 【使用目的】

抗酸菌分離培養の前処理

### 【操作方法】

- 1) 検体に等量の「CC-E液」を加え、「CC-E液」1mLに対し「CC-E助剤」を1滴（約0.04mL）滴下する。
  - 2) 容器を密閉し試験管ミキサーで20秒程度攪拌する。
  - 3) 容器を転倒混和し、15分間室温に放置する。
  - 4) これに5倍量以上のリン酸緩衝液（pH6.8）を加え、3,000×gで20分間、遠心分離する。
  - 5) 上澄みを静かに捨て、沈渣にリン酸緩衝液（pH6.8）を0.5mL加え、再懸濁する。
- ※※ 6) 再懸濁液を、液体培地には0.1～0.5mL、卵培地には0.1mLを接種する。

### 【使用上又は取扱い上の注意】

- 1) 検体処理時、濃厚痰など均等化しにくい場合は、「CC-E液」を検体の2倍量まで添加可能である。
- 2) 多数の検体を処理する場合、「CC-E液」と「CC-E助剤」を100mL：4mLの割合で混合しておくことも可能である。ただしこの場合は、当日中に使い切ること。
- 3) 開封後2～3ヵ月以上経過したり、開閉を繰り返したりしていると「CC-E液」に白色結晶が析出することがある。この白色結晶は、NaOHが空気中の炭酸ガスと反応してできる炭酸水素ナトリウムの結晶である。少量の場合は使用可能であるが、多量に析出した場合はできるだけ使用を控えること。
- 4) 検査に使用した器具類や使用後の試薬・培地等は、必ず滅菌してから適切な処理を行うこと。
- 5) 病原性微生物の取り扱いに習熟した者の指導のもと、安全管理に注意して取り扱うこと。
- 6) 使用期限に注意し、期限切れの本品は使用しないこと。

### 【貯蔵方法・使用期間】

- 1) 貯蔵方法    室温保存
- 2) 使用期間    8ヵ月間

### 【包装単位】

- CC-E液            400mL )  
CC-E助剤        20mL )    各1本・各6本

### ※【お問い合わせ先】

日本ビーシージー製造株式会社 カスタマーセンター  
〒112-0012 東京都文京区大塚一丁目5番21号  
TEL (03) 5395-5590 FAX (03) 5395-5580